

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
東京オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業	<p>◆オランダ連携事業 オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)とオンライン会議を実施。あだちスポーツコンシェルジュの近況報告や知的障がい者向けのコーフボール指導講演会など行ないました。 また、中学生とオランダアスリートのオンライン交流を実施しました。</p> <p>■オランダオンライン会議 【実施日】5月21日 【参加団体】NOC*NSF、JSC、足立区</p> <p>■コーフボール指導オンライン講習会 【実施日】6月17日 【講師】ドルフ・ナイブルック氏(コーフボール指導者)、 リタ・ファン・ドリエル氏(障がい者スポーツ普及の専門家) 【参加者】スポーツ推進委員、総合スポーツセンター職員、 区職員 17人</p> <p>■中学生オンライン交流 【実施日】6月29日 【中学生参加者】花畑中学校 生徒会 6人 【オランダ】マルレーネ・バン・ガンセウインケル選手 (パラ女子陸上100m、200m、幅跳び)、 リタ・ファン・ドリエル氏</p>
東京オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業	<p>◆オリンピック聖火リレー コロナ禍で公道での聖火ランナー走行は中止になりましたが、セレブレーション会場(足立市場)で聖火ランナーによる点火セレモニーを実施しました。 【実施日】7月18日 【会場】中央卸市場足立市場 【参加自治体】豊島区、板橋区、北区、足立区</p>
東京オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業	<p>◆パラリンピック聖火採火式 都内62区市町村において、共生・パラリンピックの思いが込められた火を採火する採火式を実施。足立区では職員が火おこした「あだちの火」を障がい者アスリートがトーチで繋ぎ、ランタンに火を灯しました。「あだちの火」は東京都で集火され、全国から集まった火と合わせて「パラリンピック聖火」となりました。 【実施日】8月20日 【会場】総合スポーツセンター小体育室 【出席者】区長、議長、体育協会会長、スポーツ推進委員会会長、 総合スポーツセンター職員、障がい者アスリート</p> <p>◆パラリンピック聖火ビジット パラリンピック聖火の灯ったランタンや聖火トーチを、都立花畑学園の児童・生徒とその保護者を対象に展示会を開催しました(都主催・区協力) 【実施日】8月21日 【会場】都立花畑学園 【参加者】花畑学園児童・生徒と保護者 70組217人</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
東京オリンピック・パラリンピックレガシー創出事業	<p>◆区ゆかりの選手のぼり旗掲示 足立区出身のオリンピック出場選手を応援する上り旗を作成し、区役所、スポーツ施設、地域学習センター等に掲示しました。</p> <p>【区ゆかりの選手】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森ひかる選手(女子トランポリン)</li> <li>・ 中村克選手(競泳男子100m、4×100mフリーリレー、4×100mメドレーリレー)</li> <li>・ 森脇唯人選手(ボクシング ミドル級)</li> <li>・ 山下杏也加選手(女子サッカー ゴールキーパー)</li> </ul>
学童保育室運営事業	<p>待機児童が多い地域で学童保育室の整備および特別延長保育の拡充を図りました。</p> <p>◆4月に新たに学童保育室を3か所開設し、122人の定数増を図りました。</p> <p>【千住西地区】 40人(民設民営) 【桜木・河原町地区】 42人(民設民営) 【関原地区】 40人(民設民営)</p> <p>◆令和4年度4月開設に向けて、舎人・入谷地区を対象に民設学童保育室の公募を行いました。</p> <p>◆令和4年度4月開設に向けて、新規開設に伴う指定管理学童保育室2か所の公募を行いました。 また、指定管理期間満了に伴う指定管理学童保育室3か所の公募も併せて行いました。</p> <p>◆新たに4か所(区立1か所、民設民営3か所)でお子様を19時までお預かりする特別延長保育を開始しました。</p>
子育てサロン事業	<p>◆商業施設等内子育てサロンおよび、拠点型子育てサロンにおいて、密を回避するため、混雑してきた場合に、ツイッターにてその旨の情報発信を開始しました。また、各子育てサロンの混雑状況傾向を区のホームページに掲載しました。</p> <p>◆子育てサロンスタッフのスキルアップを図るため9月30日に読み語り手法の研修を実施しました。受講者は、20人でした。</p>
こども未来創造館事業	<p>◆オリンピック・パラリンピック開催に合わせて、「スポーツチャレンジパーク」と題し、金メダルの展示やポッチャ・ゴールボール・スポーツクライミングの体験会などを実施しました。</p> <p>◆7月より小学生対象のクラブ活動「あだちっこらぶ」を開始し、「ボイストレーニング」と「デジタルミュージック」の2つのクラブ活動を行っています。</p> <p>◆利用者 175,390人 (4月～9月※4～5月はマルチ体験ドーム休館。 西新井文化ホール(20,914人)含む)</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>文化芸術推進事業 ※評価対象外</p>	<p>【文化分野】</p> <p>◆大学連携事業委託 文化芸術への関心を高めるため、藝大連携事業を実施している。(9/30現在全5回中、2回実施済み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月2日 弦楽四重奏をインターネット配信</li> <li>・ 8月15日 ピアノコンサート実施(参加者32人)</li> </ul> <p>(今後の予定)</p> <p>10月17日にコンサート、11月3日に配信、2月頃にコンサートを実施予定</p> <p>◆郷土芸能の映像化経費 コロナの影響により郷土芸能大会が中止になったこと、多くの団体が活動できなかったため、PR動画の作成が困難であった。</p>
<p>読書活動推進事業 ※評価対象外</p>	<p>【読書分野】</p> <p>◆電子図書館の運用開始 図書館に来館しなくても本が読める新たなサービスとして、令和3年7月に「あだち電子図書館」の運用を開始しました。 利用登録者数 2,687人(9月30日現在) 累計貸出冊数 5,458冊(9月30日現在)</p> <p>◆あだちはじめてえほん事業 子どもの読書習慣の定着、将来の社会性と学力向上に貢献するため、乳幼児健診の機会を捉え絵本を配付し、読み語りを実演するなど、親子がふれあうことの大切さと絵本を読む楽しさを伝えました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3～4か月児健診時:健診受診時に絵本を一冊配付 配付冊数 1,934冊(4月から9月)</li> <li>・ 1歳6か月児健診時:健診通知に引換券を同封し区内図書館と子育てサロン・児童館で絵本と引換え 配付冊数 1,265冊(4月から9月)</li> </ul> <p>◆調べ学習用図書の配送 区内小・中学校へ調べ学習用図書の配送サービスを実施しました。 配送回数(4月から9月) 小学校 22校 92回 3,718冊 中学校 2校 11回 305冊</p>
<p>運動・スポーツ推進事業 ※評価対象外</p>	<p>【スポーツ分野】 新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベントが中止や延期となるなか、スポーツを通じた共生社会実現のため、下記事業を開催しました。</p> <p>◆パラスポーツ教室 障がいの有無に関わらず参加できるパラスポーツ教室を、スペシャルクライフコート等で実施しました。 上半期 ・実施回数 16回 ・体験人数 254人(うち障がい者106人)</p> <p>◆初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度に基づいた、障がい者スポーツを支える人材育成のための講習会を実施しました。 上半期 ・参加人数 22人</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>文化・読書・スポーツ活動協創推進事業【3分野連携】 ※評価対象外</p>	<p>【分野連携】 ◆3分野連携事業(「ちよいスポ」「ちよいカル」「ちよい読み」) 主に20～40歳代の子育て世代を対象として、「読書×スポーツ」「読書×文化」「文化×スポーツ」といった分野間の連携により、各々の施設利用者が異なる分野への関心・行動につながる働きかけを行うことで、新たな分野に親しむ人を増やす取組を実施します。</p> <p>実施内容 おはなし会の時間に親子でベビーヨガやバランスボールの体験、図書館前スペースでの写真講座や工作・アロマ体験 など</p> <p>実施期間 令和3年10月～12月 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、講座開始時期を8月から10月に延期。事業周知のみ8月から開始。</p> <p>実施場所 15か所 (生涯学習センター、地域学習センター13か所、江南コミュニティ図書館)</p>
<p>ひとり親家庭総合支援事業【ひとり親家庭交流事業(サロンの木)】</p>	<p>ひとり親家庭の皆さん同士が、仕事、生活、子育て等の悩みや相談、情報交換、交流をする場です。定期的に開催し、様々なイベントや講座を行いました。</p> <p>◆開催期間 4月～9月、第2・3・4土曜日</p> <p>◆開催場所 区内地域学習センター等 (新型コロナウイルスの影響により、8回中止)</p> <p>◆実施回数 12回</p> <p>◆参加世帯数 延べ64世帯112人</p>
<p>ひとり親家庭総合支援事業【養育費確保支援事業】</p>	<p>養育費制度の啓発と補助事業の新規事業開始に伴い4月に児童育成手当受給者に発送した応援ブックにチラシを同封したり、豆の木メールや応援アプリにて情報提供しました。</p> <p>◆問い合わせ・相談件数 131件</p> <p>◆補助金申請件数 9件</p>
<p>あだちスマイルママ&amp;エンジェルプロジェクト(ASMAP)の推進事業</p>	<p>保健師等による妊婦全数面接をはじめとし、産後の赤ちゃん訪問、3～4か月児健診、1歳時アンケート等により、支援が必要な妊産婦及び家庭への適切なケアを行い、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援を実施しました。 また、「こども商品券」の配付による育児環境整備の支援にも取り組みました。</p> <p>◆スマイルママ面接(妊婦全数面接) 面接実施及びこども商品券配付人数 1,973人</p> <p>◆特に指導・支援が必要と判断した妊婦に対し、保健師が訪問した人数 148人</p> <p>◆こんにちは赤ちゃん訪問 訪問実施人数 延べ1,960人</p> <p>◆ファーストバースデーサポート(1歳時アンケート) こども商品券配付人数 2,134人</p>
<p>ユニバーサルデザイン推進事業 ※評価対象外</p>	<p>「足立区ユニバーサルデザイン推進計画(2019年度～2025年度)」に基づき、令和2年度に実施した個別施策について、自己評価を行いました。今年度も各担当部署で上記計画の年度別計画に基づき個別施策を実施しています。</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>教育政策管理事務 【小学校図書館支援員派遣】</p>	<p>民間事業者の専門的なノウハウを活用し、学校図書館の環境整備、読書活動の推進など、教員と連携しながら、学校図書館の活用充実に向けた支援を行いました。 ◆実施校 小学校全69校 ◆支援回数 週2回 6時間/1回 (9月末現在)</p>
<p>教育政策管理事務 【中学校図書館支援員の配置】</p>	<p>中学校全35校の図書館に学校図書館支援員を各校1人配置し、図書の整理をはじめ、学校図書館だよりの発行、調べ学習のサポートなどにより、生徒の学習や読書活動の充実に向けた環境づくりに取り組みました。 ◆中学校 図書館支援員 35人 (9月末現在)</p>
<p>教育政策管理事務 【体育館等利用LTE端末通信料】</p>	<p>体育館や校庭など学校LANの無い場所でLTEタブレット端末を使ってインターネットを利用した授業や行事に活用するための通信費を計上し、全小中学校の教室以外の場所でも柔軟にタブレット端末を利用できる環境を整備しました。 ◆全校各2台</p>
<p>教育政策管理事務 【ICT機器修繕費】</p>	<p>1人1台のタブレット端末整備に伴い、故障や破損の増加に対応するため、ICT機器の修繕経費を拡充しました。 ◆28校 39件(9月末現在)</p>
<p>学力向上対策推進事業 【多層指導モデル(MIM)】</p>	<p>学習の基礎となる「流暢な読み」の獲得を旨とし、全校小学1年生各クラスの学習や活動において、異なる学力層の子どもに対応した指導・支援を行うとともに、教員を対象にMIM研修会を2回実施しました。 ◆参加者 第1回97人・第2回72人 ◆実施方法 第1回集合・第2回オンライン ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、第2回はオンライン開催とした。 (9月末現在)</p>
<p>学力向上対策推進事業 【小学生夏休み学習教室】</p>	<p>小学3～6年生の学力中間層を対象とし、少人数の指導体制を確保し、参加児童の学習状況に応じた指導を、民間教育事業者を活用して実施しました。 ◆実施期間 7月26日～30日 ◆実施校数 26校 ※8月実施予定の43校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止とした。</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>学力向上対策推進事業 【中1夏季勉強合宿】</p>	<p>「小学校算数の基礎的な学習内容の定着が不十分で中学校の数学の学習に支障をきたす」と考えられる、中学1年生を対象に、算数・数学のつまづきを解消することを目的とし、宿泊で小・中学校教諭がマンツーマン指導を行う事業。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は宿泊型ではなく各中学校における通所型での実施を予定していたが、緊急事態宣言延長に伴い中止とした。</p>
<p>学力向上対策推進事業 【足立はばたき塾】</p>	<p>家庭の事情などにより塾等の学習機会が少ないが、成績上位で学習意欲が高く、将来の夢の実現に向けて難関高校等への進学を旨とし、中学3年生を対象にした、受験対策講座を民間教育事業者を活用して実施しました。 ◆参加生徒数 85人 ◆定期講座 全40回のうち22回を実施済み ◆特別講座 全39回のうち20回を実施済み ◆夏季集中講座 全15回のうち9回を実施済み ◆集中特別講座 全15回のうち9回を実施済み ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、特別講座・夏季集中講座・集中特別講座を各1回下半期に振替。 (9月末現在)</p>
<p>学力向上対策推進事業 【英語マスター講座】</p>	<p>一定レベル以上の英語力があり、かつ英語を学ぶことへの強い興味・関心と、自らの英語力向上への高い意欲を有する中学生を対象に、オンライン英会話を活用して英語4技能(「聞く・読む・話す・書く」力)を伸ばすための委託事業を実施しました。 ◆参加生徒数 89人 ◆月曜・水曜・金曜の3コースを設定 ◆全30回のうち、月曜・水曜コースは9回、金曜コースは8回実施済み ※上記実施回数には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、短縮講座(各曜日1回)とオンライン講座(月・水曜クラス各6回、金曜クラス5回)にて実施したものを含む。 (9月末現在)</p>
<p>学力向上対策推進事業 【小中連携事業】</p>	<p>小学校から中学校への円滑な移行と児童・生徒の学力定着のために、各中学校区を単位とした連携校が授業研究や交流活動などに取り組みました。 ◆実施校 全小・中学校 (1)外部講師招聘校数 26校(104校中) (2)外部講師招聘グループ数 10グループ(35グループ中) (3)外部講師招聘活動延べ回数 14回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、上記とは別に8回分を下半期に変更。 (9月末現在)</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
<p>学力向上対策推進事業 【大学連携事業】</p>	<p>教員の指導力向上および児童・生徒の英語力向上とその英語力の発揮に向け、明海大学との協定に基づく連携事業を展開しました。            ◆大学教授による英語教育アドバイザーの育成支援            ◆外国人等児童の日本語指導研修会            ◆大学教授による区民対象英会話講座            ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、一部オンラインにより実施。            （9月末現在）</p>
<p>学力向上対策推進事業 【学力定着指導員配置】</p>	<p>学校経営や児童・生徒の学力向上等教育政策課題の解決に向けた取り組みに関して指導、助言を行いました。            ◆学力定着指導員 10人            （9月末現在）</p>
<p>学力向上対策推進事業 【教科指導専門員配置】</p>	<p>児童・生徒の基礎学力定着には教員の指導力向上が不可欠であるため、経験豊富で教科指導に秀でた専門員が小・中学校を巡回し、指導・助言を行いました。            ◆教科指導専門員 小学校45人 中学校35人            （9月末現在）</p>
<p>学力向上対策推進事業 【そだち指導員配置】</p>	<p>小学校全校に指導員を配置し、3・4年生を対象に別教室で個別指導(国語・算数)を行い、つまずきの早期解消を図りました。            ◆そだち指導員 小学校 75人            （9月末現在）</p>
<p>学校の指導事務【授業目的 公衆送信補償金制度】</p>	<p>授業目的公衆送信補償金制度の実施に伴い、ICTを活用した教育を推進するため、その費用を支出しました。            ◆対象 区立小・中学校 全校児童・生徒</p>
<p>学校の指導事務【日本語適 応指導講師】</p>	<p>外国籍等児童・生徒への対応のため、主に小学校へ日本語適応指導講師を派遣し、日本語の習得を支援しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、海外からの転入者減少等の要因により、指導が必要な児童・生徒は減少傾向です。            ◆令和3年度指導実績 73人            （9月末現在）</p>
<p>学校の指導事務【あだち日 本語学習ルーム】</p>	<p>外国籍等の中学生への対応のため、あだち日本語学習ルーム(通級)において、日本語の習得を支援しました。なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、海外からの転入者減少等の要因により、指導が必要な生徒は減少傾向です。            ◆令和3年度指導実績 14人            （9月末現在）</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
学校の指導事務【弁護士委託費用】	主に学校で発生した事故等の対応のため、弁護士委任契約を締結し、調停・訴訟対応等を行いました。
教育課題解決への取組事務【よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査事業】	よりよい学校生活と友達づくりのために、学級集団の状況に関する児童・生徒への実態調査を行い、調査結果から児童・生徒の潜在的な不満・不安を把握し、安定した学校経営を計画的に行うよう努めました。(上半期は年度全2回のうち1回を実施) ◆実施校 全小中学校(小学校69校、中学校35校) ◆実施対象 小学3年生から中学3年生まで
幼児教育振興事業	◆幼児教育研修 教育・保育の質の向上のため、区内幼稚園教諭・保育従事者を対象に人権、災害、年齢別担任等の研修(一部オンデマンド配信)を実施しました。 【実施回数】 21回 【参加者延べ】 1,498人(9月末現在) ◆幼保小連携活動 教員・保育者間の相互理解を深めると共に子どもたちのスムーズな小学校就学のため、連携する小学校と就学前施設ごとに打ち合わせを行い、幼保小連携活動を実施しています。 教員・保育者向けの接続期教育研修については、移行期の実践に繋がるよう、実施時期を変更しオンデマンド配信にて開催しました。 (4月23日～5月31日)
育英資金事業	育英資金緊急対策(新型コロナウイルス感染症関連)で「免除条件付緊急貸付追加支援」を実施しました。 ◆免除条件付緊急貸付追加支援 135人  育英資金緊急対策(新型コロナウイルス感染症関連)で「返済猶予」「特別貸付」「免除条件付緊急貸付」を実施しました。なお、申請期間は4月1日から12月15日まで。 ◆返済猶予 55人 ◆特別貸付 16人 ◆免除条件付緊急貸付 53人  育英資金貸付及び奨学金返済支援助成の募集を行っています。(8月2日から12月15日) ◆募集人数 貸付80人 助成80人
小・中学校給食業務運営事業【おいしい給食の推進】	児童・生徒の食に対する意識や食べる意欲の向上を図るため、小・中学校全校で喫食時間の確保や食育に取り組む「もりもり給食ウィーク」を実施しました。 ◆実施日 6月14日～18日

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
小・中学校給食業務運営事業【多子世帯への学校給食費補助】	<p>新たな学校給食費の負担軽減策として、足立区立小・中学校に3人以上通う世帯を対象に、第2子を半額補助、第3子以降を全額補助することにより、多子世帯の負担軽減に努めました。</p> <p>◆前期分の支給人数 1,702人(9月末現在) ※前期分は令和3年4月から7月分の給食費</p>
自然教室事業	<p>昨年度、緊急事態宣言の延長により一日自然体験教室を実施できなかった学校を対象に一日自然体験教室を実施しました。</p> <p>◆小学6年生 10校</p>
放課後子ども教室推進事業	<p>地域の方々の協力により、小学校施設(校庭や教室など)を活用し、児童の放課後の安全安心な居場所を提供しました。</p> <p>◆実施校 小学校67校(未実施2校) ◆延実施日数 3,095日(一時休止した学校あり。時期及び期間は各校による。) ◆延参加人数 103,484人 ※新型コロナウイルス感染症拡大による9月1日から11日までの学校の臨時休業に伴い、放課後子ども教室は休止しました。その後、2校で再開しましたが、67校が引き続き休止しました。(9月末現在)</p>
幼児教育推進事業・家庭教育推進事務	<p>夏休み期間中の生活リズムが崩れないよう、希望する小学校の1年生に対して「早寝・早起き・朝ごはん」四週間版チェックブックを配付しました。</p> <p>◆配付数 小学校36校 2,703冊</p>
発達支援児に対する事業の推進	<p>教育・保育施設等から小学校・中学校までスムーズな情報の引継ぎを目指します。</p> <p>◆相談しやすい窓口 ・相談受理件数 657件</p> <p>◆支援の継続 ・就学移行プログラム試行実施 6校   感染症予防対策のため中止 ・就学後早期の特別支援教室プログラム実施 1校</p> <p>◆特性に応じた支援の充実 ・未就学機関への訪問支援回数 331回 ・小、中学校への訪問支援回数 54回   (小学校30回、中学校24回)</p>

令和3年度上半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
不登校対策支援事業	<p>各学校における不登校児童・生徒への取り組みを支援するため、登校サポーターを派遣し、家庭へのお迎えや学校での別室登校の対応を行いました。</p> <p>◆登校サポーター 78人 ◆対象児童・生徒 236人</p>
子どもへの多様な体験機会の充実	<p>大学と連携し、小・中学生と大学生等との交流や学習意欲向上を図る体験活動、高校生以上の方を対象にしたボランティア養成講座を実施しました。</p> <p>◆オンデマンド de 科学・ものづくり体験教室(小) 300人参加 ◆音楽教育支援活動(小・中) 21校 8,500人利用 ◆アートボランティア講座(高以上) 15人参加</p>
不登校児童のための家庭学習支援事業	<p>長期欠席状態にある小学生を中心に、家庭への講師派遣やICTを活用した学習支援などを行いました(令和3年度から実施)。</p> <p>◆対象児童・生徒 延べ26人(R3/10/8時点)</p>
地域型保育事業【0歳児欠員補助】	<p>各月の1日時点において零歳児が欠員している場合、保育内容の充実に要する経費として小規模保育事業所に対して補助を実施しました。</p> <p>◆補助件数 4月24件、5月21件、6月19件、7月17件、8月12件、9月6件 ◆補助金額 39,229千円</p>
家庭的保育事業【事業継続支援事業補助】	<p>受託児が0人の家庭的保育事業者に対し、保育施設の維持管理経費及び保育従事者の人件費の一部補助を実施しました。</p> <p>◆補助件数 4月23件、5月17件、6月14件、7月14件、8月12件、9月11件 ◆補助金額 10,600千円</p>